

## 論点② 緑化推進団体等の育成・連携の現状を踏まえた今後の方向性について

(第 66 回緑政審議会議事録から抜粋)

## 【緑化推進団体等の役割について】

岩田委員：(鎌倉広町緑地について)一応モニタリングをやって頂いているのですが、市民の方にやっていただいているので、現状でめぼしいものを、種を指定して指標をチェックする程度のもので、全体の環境がどのように変化しているのかをきちんと記録を取られる事がまず必要かなと思います。

田沼公園課長：(鎌倉広町緑地の)基本構想、基本計画、基本設計の中で、それぞれゾーニングをしまして、そこをどのようにしていくのかというのを非常に細かく、広町の場合は決めておりますので、それを継続的に、市民団体の方達が基本的には管理しています。

## 【緑地の維持管理に関する課題について】

植木委員：広町緑地のような立派な緑地は、継続的にきちんと管理されていくと思いますが、それほど大きくはないけれども緑地として残されている部分についても考えていただきたいです。

木の伐採、枝切り、下草刈りとかで、どうしてそのような草刈の仕方をしたのかな、と思うようなことがある。小さな所もきちんとやって欲しいです。ちょっときめ細やかな部分を計画していただければよいと思います。

奥水会長：小規模な緑地に関して管理を考えた指針というものが用意されているのでしょうか。

田沼公園課長：寄附や、近郊緑地特別保全地区で買入れた土地に関しましては、直営で、その都度苦情があった所に関して対応しています。法面を管理する中ではなかなか細かくできない部分があります。ただ、岩田委員からこのような植物が生育しているから、刈り方を注意してくださいというようなご指摘を受けた場所については、注意をしてやっています。

(仮称)常盤山緑地は、ボランティア団体と協力しながらやっています。都市公園法の網がない緑地に関しての維持管理は今、一つの課題になっています。

奥水会長：鎌倉市の組織、業務というのはいろいろあるため、一定の基準で管理するという事は出来ないし、そうしない方がよいということがあります。

## 【緑地の質の向上について】

岩田委員：(緑政にかかる部分の予算というのは)厳しい部分も出てきますし、特に公園は整備事業の予算は出ますが、維持管理については予算がつきにくくなっている状況があります。

自然環境調査をやってから 10 年以上たっていますが、保全をするためのデータを収集するのも一つの目的でしたが、当時と比べて、生息環境からいうと質が劣化している部分が多いので、まず、それぞれの緑地、公園の緑の質を向上するというのを一つの大きな目標としていただいて、予算関係が厳しいと思いますが頑張って維持管理に力を入れていただけるといいと思います。